

特別展「千島・樺太・北海道 アイヌの暮らし -ドイツコレクションを中心に」関連

研究公演

アイヌ音楽ライブ トンコリ×ウポポ

TONKORI

UPPOPO

出演:

OKI (オキ/トンコリ演奏)

マレウレウ (歌・踊り)

司会・解説: 齋藤玲子 (国立民族学博物館 民族文化研究部 助教)

2011年10月16日(日)

14:00~15:30 (開場13:30)

場 所: 国立民族学博物館 講堂 (定員450名)
参 加 料: 無料 (参加券をご提示いただくと、特別展を無料でご覧いただけます。)
要事前申込【申込締切 9/29(木) 必着】

主 催: 国立民族学博物館
共 催: 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構



国立民族学博物館

関西から
文化力
POWER OF CULTURE

研究公演

アイヌ音楽ライブ トンコリ×ウポポ

アイヌの楽器はムックリ(口琴)がよく知られていますが、樺太や北海道北部にはトンコリという弦楽器がありました。今回は、五弦琴とも呼ばれるこのトンコリを復活させその魅力をひろめてきたミュージシャンのOKI(オキ)と、輪唱歌ウポポを絶妙な調和で再現する女性グループのマレウレウによる公演をおこないます。出演する2組のアーティストは、古い楽器や録音資料などをもとに伝統的なアイヌの芸能の復元や継承に取り組み、新しいジャンルを創造し続けています。現代に息づくアイヌ音楽をお楽しみください。

OKI(オキ/トンコリ演奏)

旭川アイヌの血をひくトンコリ奏者。アイヌの伝統を軸に斬新なサウンド作りで独自の音楽スタイルを切り開き、アイヌ音楽の魅力を国内外に知らしめてきたミュージシャンであり、プロデューサーでもある。1995年に発表したアルバム「カムイ コル ヌブルベ」から2010年の「サハリン・ロック」まで、ソロのみならずバンドや歌手との共演でリリースした作品(CD)は10枚以上にのぼる。アジア、アメリカ、ヨーロッパなど各国でツアーを行い、国内外の多数のミュージック・フェスティバルにも参加。海外の先住民やダンス・グループとコラボレーションしたステージなど、幅広く活動している。



マレウレウ(歌・踊り)

「ウポポ」と呼ばれるアイヌの伝統的な歌の再生と伝承をテーマに活動している女性4人(メンバー:REKPO、川村久恵、MAYUNKIKI、RIMRIM)のグループ。さまざまなリズムパターンで構成される輪唱など、ウポポを忠実に再現する貴重なアーティスト。トンコリ奏者OKIのサポート・アーティストとしてこれまでオーストラリア、ドイツ、アメリカなどで公演を行い、国内外の各ジャンルのアーティストやクリエイターから熱い視線を注がれている。マレウレウはアイヌ語で「蝶」のこと。



申込方法

往復はがきに ①氏名 ②住所(返信用宛名面にも) ③年齢(任意) ④電話番号 ⑤参加希望人数(本人を含め4名まで) ⑥「国立民族学博物館友の会」会員番号(会員の方のみ)を明記の上、「10月16日研究公演」と書いて下記までお申し込みください。応募多数の場合は抽選となります。締切日以降、順次返信いたします。なお、参加申込された方の個人情報等は、研究公演にのみ使用いたします。

宛 先: 〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号
国立民族学博物館 広報企画室 企画連携係

申込締切: 9月29日(木) 必着

| | | | |
|--|--------|----------|---|
| 往信の宛名面▼ | 返信の文面▼ | 返信の宛名面▼ | 往信の文面▼ |
| 〒565-8511 大阪府吹田市 千里万博公園10番1号 国立民族学博物館 広報企画室 企画連携係 | | ご自分の住所名前 | ① 氏名 ② 住所 ③ 年齢(任意) ④ 電話番号 ⑤ 参加希望人数 ⑥ 会員番号*(会員のみ) 10月16日研究公演 |

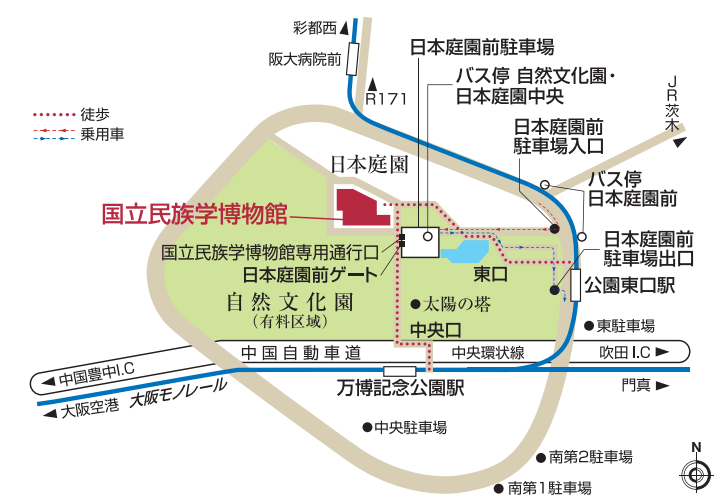
※「国立民族学博物館友の会」維持会員および正会員の方は優待枠がございます。必ず会員番号をご記入ください。

特別展「千島・樺太・北海道 アイヌの暮らし -ドイツコレクションを中心に」 2011年10月6日(木)~12月6日(火)

■開館時間: 10時~17時[入館は16時30分まで] ■休館日: 水曜日[期間中、11月23日(水・祝)は開館、翌24日(木)は休館] ■観覧料: 一般420円(350円)/高・大250円(200円)/小・中110円(90円)
※()は20名以上の団体料金 ※上記観覧料ですべての展示をご覧いただけます。※11月3日(木・祝)、11月19日(土)、11月20日(日)は無料観覧日

- | | | |
|--|--|--|
| みんなく映画会 10月9日(日)「TOKYOアイヌ」 10月30日(日)「ビューティフル ジャパン(美しき日本)」 12月4日(日)「Ainu Past and Present -マンローのフィルムから見てくるもの」 | 国際シンポジウム 11月12日(土)、13日(日)「濶故知新 -アイヌ文化研究の可能性を求めて-」 ワークショップ 10月22日(土)「ムックリ体験」 11月6日(日)「アイヌ女性の手仕事を現代に」 ギャラリートーク 10月8日(土)、10月10日(月・祝)、10月15日(土)、10月29日(土)、 11月5日(土)、11月23日(水・祝)、11月26日(土)、12月3日(土) | みんなくウィークエンド・サロン -研究者と話そう 10月9日(日)「日本における人類学の黎明期とアイヌ研究」 10月23日(日)「アイヌの大交易時代を語る」 10月30日(日)「アイヌ女性の手仕事」 11月27日(日)「ヨーロッパのアイヌコレクション」 12月4日(日)「先住民と博物館資料」 |
|--|--|--|

詳細はホームページをご覧ください。



交通のご案内

- 国立民族学博物館(みんなく)は大阪・千里の万博記念公園内にあります。「みんなく」とは大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国立民族学博物館の愛称です。
- 大阪モノレール
万博記念公園駅「日本庭園前」下車徒歩約15分
(研究公演に参加される方は、参加券を自然文化園ゲート窓口でご提示ください)
- バス
【近鉄バス】(阪大本部行き)阪急茨木市駅から約20分
JR茨木駅から約10分「日本庭園前」下車、徒歩約15分
【阪急バス】(万博記念公園駅経由千里中央行き)
阪急茨木市駅から約20分、JR茨木駅から約10分
「自然文化園・日本庭園中央」下車、徒歩約5分
- タクシー
万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れることができます。下車、徒歩約5分
- 自家用車
駐車施設がないため「みんなく」への車の乗り入れはできません。
万博記念公園の駐車場(有料)をご利用願います。最寄り「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分
*「日本庭園前駐車場」をご利用の方は、「日本庭園前ゲート」横にある国立民族学博物館専用通行口をお通りください。

